



こんにちは、久世児童館です。子育てについてお困りのことや対応の仕方などのご質問をお寄せください。当児童館がでんしょばとなり、専門の方（子育てアドバイザー、保健師、保育士など）にお聞きし、その答えをまとめ、おたよりに掲載して皆さまにお伝えします。ご質問のある方は、HPのPDF、館内にあります質問用紙にご記入の上、館内外ポストまたはFAXでお寄せください。（お電話・メールでの相談は受け付けておりません）

★ご相談内容 ★★こうなっしてほしい ☆☆☆回答、アドバイス

【食事】

（母より1歳3ヵ月女児について）



★炭水化物（特にお米）が好きではない。炊き込みご飯にしても具だけを食べようと
する。おにぎりも好きではない。

★★何かお米を食べたくなるような方法はあるのか。

☆見た目、におい、食感などから苦手な食材がある人は多いです。においなど刺激の少ないお米は、見た目、食感を変えるのはいかがでしょう。例えば、小さなおにぎりをフライパンで、薄く押しつぶすように焼き、香ばしいおせんべいにするというのはいかがでしょうか。（子育てアドバイザー）



【その他：おっぱいをさわるくせがある】（母より2歳7ヵ月男児について）

★ちょっと甘えたい時、眠い時などすぐおっぱいをさわり飲むふりをして口をつけたりする。家の中だけでなく外でもやる。

★★やめてほしい。体調により、さわられると不快感があるのでやめさせたい。

☆お子さんはみんなお母さんのおっぱいが大好きです。でも不快を感じられるお母さんも多いです。やめてもらうために大切なことは、愛情表現を変えるだけということでしょう。「あなたのことは大好きよ。でもおっぱいは痛いから触らないでほしいな。」また「恥ずかしいからお外では、やめてね。」という言葉がけはどうでしょう。

☆☆代わりに、耳たぶ、首筋、二の腕、おなか、太もも・・・今までお聞きした部位の数々です。お子さんと相談するときは是非、ギュッとしながら。（子育てアドバイザー）

☆お子さんはママのおっぱいが安心基地なのでしょう。ただママにとっては体調やお子さんの月齢が高くなることで不快に感じることもありますよね。

おっぱい以外の安心基地を用意してあげることがよいでしょう。例えば、「おっぱいをさわられるとママは痛いからさわらないでね。かわりにおててをつなごう」と手をつないだり、「ぎゅーしようね」と抱きしめたりする。また、タオルやお気に入りのぬいぐるみを渡すことも有効です。これらの代替品が手放せなくなることを心配する必要はありません。乳幼児期によく見られる短期的な現象であり、成長の過程において自然なことです。

外出先でも安心するタオルやぬいぐるみがあることでぐずりが少なくなり、最強の子育てアイテムにもなります！お子さんが成長するにつれて、ママのおっぱいや代替品から卒業する日がやってきますので安心してくださいね。（保健師）